

## 概要

### 【地盤の平板載荷試験】

地盤の平板載荷試験は、原地盤に剛な載荷板を設置して荷重を与え、荷重の大きさと載荷板の沈下との関係から地盤の変形や強さなどの支持力特性を調べるための試験です。

構造物基礎地盤の支持力特性を求めるために利用されます。

### 【道路の平板載荷試験】

道路の平板載荷試験は、道路の路床や路盤などに剛な載荷板を設置して荷重を段階的に加え、その荷重強さと沈下量の関係から、地盤反力係数を求めるための試験です。

試験結果は主に設計、施工管理に利用されます。

## 特徴

### 地盤の平板載荷試験 JGS1521

- バックホー等、反力になるものが必要(反力となる重機をご用意ください)
- 設計地耐力の確認のため行うので、通常設計地耐力に相当する力を試験荷重として試験を行う。  
そのため、極限支持力が必ず求められるわけではない。  
(この地盤は設計地耐力以上の地耐力がある、という確認を行う)
- 床付け地盤で試験を行う。
- 1日2ヶ所まで作業可能。
- 0.2m<sup>3</sup>バックホー …………… 100kN(10.2t)

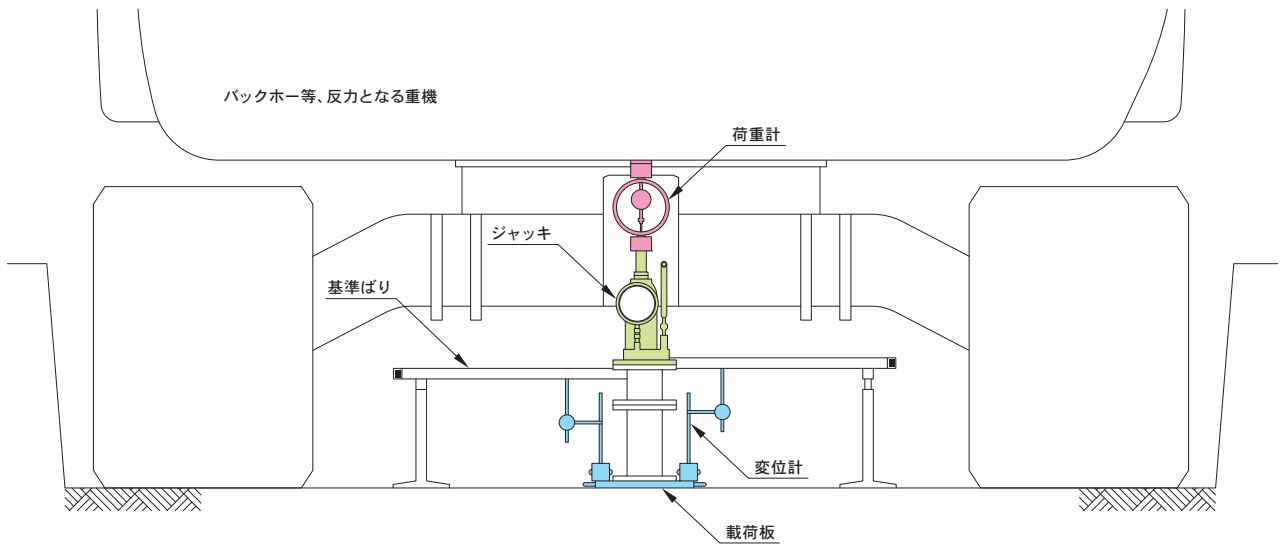
### 道路の平板載荷試験 JISA1215

- バックホー等、反力になるものが必要(反力となる重機をご用意ください)
- 地盤の平板載荷試験とは、荷重の保持時間が異なる。
- 基本的には、地盤の平板載荷試験と同様。
- 1日2ヶ所まで作業可能。

## ■ 平板載荷試験



図-1 試験用具の設置



調査件名 多摩市乞田地盤改良工事 試験年月日 2017年 3月 16日

地点番号(地盤高) No. 20(L)

試験者



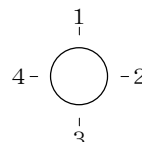
載荷板の形状	円形剛板	載荷板の寸法 cm	30	載荷板の面積 A m <sup>2</sup>	0.07069
ジャッキの種類	油圧ジャッキ	ジャッキの能力 kN	100	反力装置の種類	バックホウ
載荷方法	1サイクル	荷重計の校正係数 K kN/m <sup>2</sup> /目盛	14.1643	天候	晴

サイクル	荷重計読み R	載荷圧力 p=kR kN/m <sup>2</sup>	時刻	経過時間 t min	変位計の読み mm				変位計読みの平均値 mm	累計沈下量 mm
					1	2	3	4		
				10	6.670	6.720	6.550	6.600	6.635	5.700
				15	6.670	6.720	6.550	6.600	6.635	5.700
				20	6.700	6.750	6.580	6.630	6.665	5.730
				25	6.700	6.750	6.580	6.630	6.665	5.730
				30	6.700	6.750	6.580	6.630	6.665	5.730
37.20	526.91			0	8.040	8.090	7.900	7.950	7.995	7.060
				1	8.180	8.230	8.040	8.090	8.135	7.200
				2	8.260	8.310	8.120	8.170	8.215	7.280
				5	8.320	8.370	8.180	8.230	8.275	7.340
				10	8.370	8.420	8.230	8.280	8.325	7.390
				15	8.370	8.420	8.230	8.280	8.325	7.390
				20	8.410	8.460	8.270	8.320	8.365	7.430
				25	8.410	8.460	8.270	8.320	8.365	7.430
18.60	263.46			0	8.440	8.490	8.300	8.350	8.395	7.460
				1	8.440	8.490	8.300	8.350	8.395	7.460
				2	8.440	8.490	8.300	8.350	8.395	7.460
				5	8.440	8.490	8.300	8.350	8.395	7.460
0.00	0.00			0	5.860	5.900	5.730	5.770	5.815	4.880
				1	5.640	5.680	5.510	5.550	5.595	4.660
				2	5.550	5.590	5.420	5.460	5.505	4.570
				5	5.510	5.550	5.380	5.420	5.465	4.530

特記事項

変位計番号と方位

株式会社CSS技術開発  
当社成果品 見本



[1kN/m<sup>2</sup> ≒ 0.0102kgf/cm<sup>2</sup>]

調査件名 多摩市乞田地盤改良工事

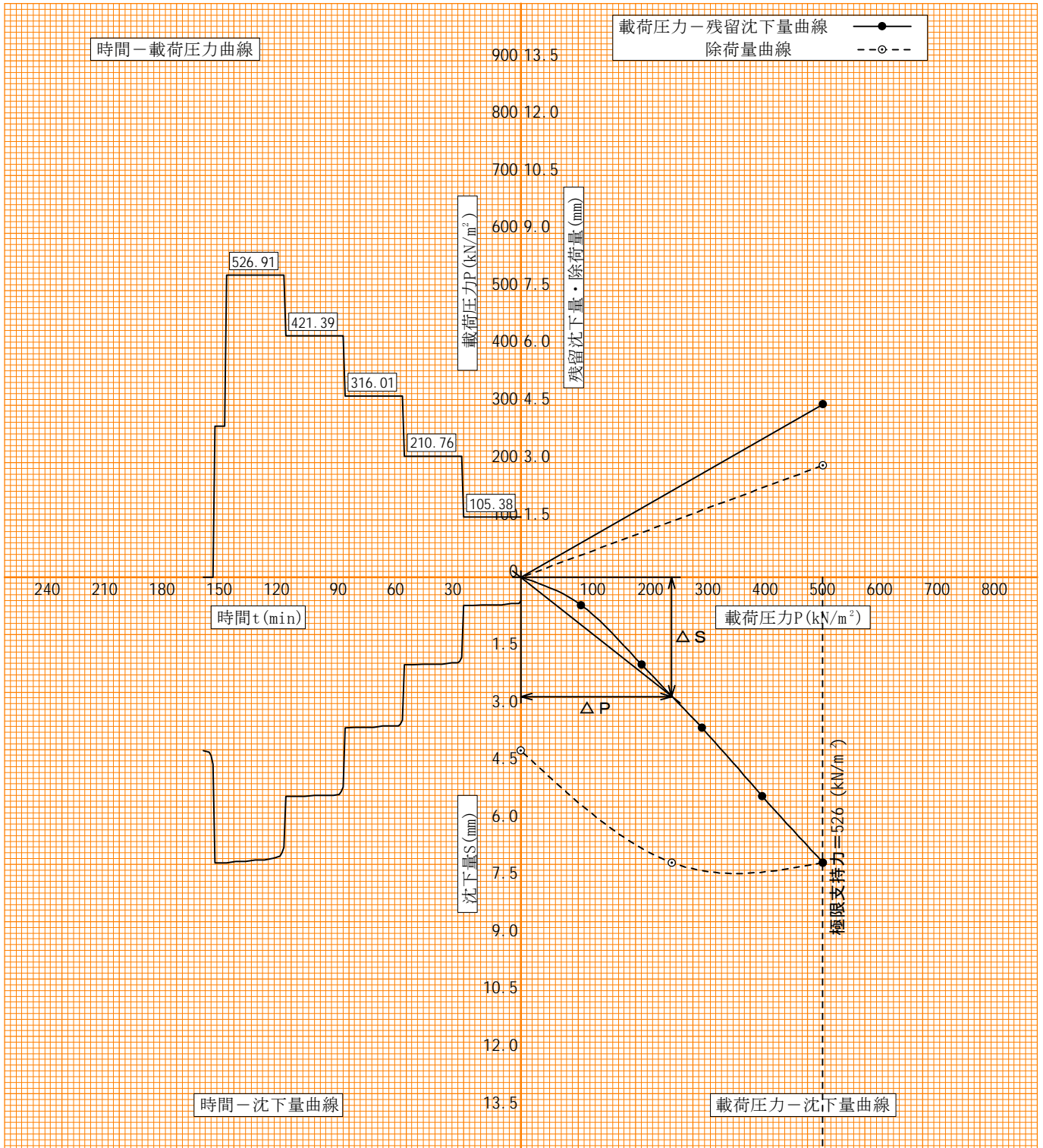
試験年月日 2017年 3月 16日

地点番号 (地盤高) No. 20 (L)

試験者 試験結果



試験地盤の観察結果		地下水の状況	
単位面積当たりの荷重変化量 $\Delta p$ kN/m <sup>2</sup>	263	地盤反力係数 $K_v = \Delta p / \Delta S$ MN/m <sup>3</sup>	84.4
$\Delta p$ に対応する沈下量 $\Delta S$ mm	3.115	極限支持力 kN/m <sup>2</sup>	526



特記事項

[1kN/m<sup>2</sup> ≒ 0.0102kgf/cm<sup>2</sup>]  
[1MN/m<sup>3</sup> ≒ 0.102kgf/cm<sup>3</sup>]

株式会社CSS技術開発  
当社成果品 見本

調査件名 多摩市乞田地盤改良工事

試験年月日 2017年 3月 16日

地点番号 (地盤高) No. 20 (L)

試験者 試験結果

